

不動産関連事業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進、BtoBtoC 領域へ進出
三菱地所、エレベーターメディア事業に初参画
スタートアップ企業「株式会社東京」とともに「spacemotion 株式会社」を設立
第一弾として TRC センタービル※1、伊藤ビル※2 に導入、運用開始

三菱地所株式会社（本社：東京都千代田区、執行役社長：吉田 淳一、以下「三菱地所」）は、エレベーター内で、オフィスビル等の就業者向けの情報や天気情報・ニュース、独自のエンターテインメントコンテンツ等を配信する「エレベーターメディア事業」に参画することを決定しました。本事業推進にあたり、エレベーター内サイン・ジ事業を行うスタートアップ企業である株式会社東京（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：羅 悠鴻、以下「東京」）とともに、本日 11 月 5 日に新会社「spacemotion 株式会社」（以下、spacemotion）を設立しました。

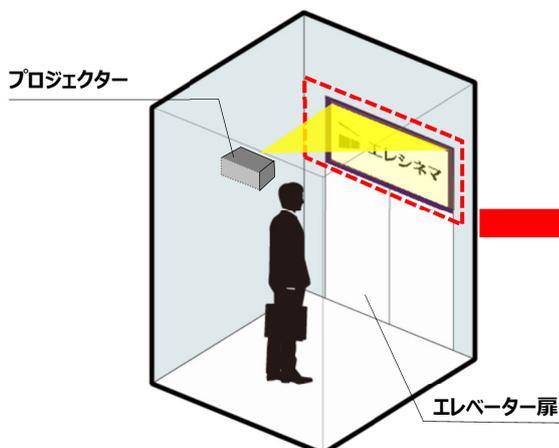
spacemotion が展開するエレベーターメディア事業（事業名：「エレシネマ」）は、従来のポスターやディスプレイを活用したエレベーター内でのコンテンツ配信とは異なり、プロジェクターを用いてエレベーターかご内に映像を投影するものです。これにより、より大画面で迫力のあるコンテンツの投影が可能となり、エレベーター内を「小さな劇場」に変えていきます。

本事業の第一弾として、東京都・大田区の「TRC センタービル※1」及び豊島区の「伊藤ビル※2」でのサービスを開始しました。以降、都内のオフィスビルを中心に順次プロジェクターの実装・コンテンツ配信を進めていき、今後はホテル・マンション・商業施設・物流施設等、他アセットへの展開も推進して参ります。今後 2 年間で、全国主要都市中心に 5,000 台まで導入を拡大していく予定であり、将来的には都市化が進む東南アジア等へのグローバル展開も見据えた市場開拓を推進していきます。

三菱地所は、本年 4 月に DX 推進部を新設し、リアルな不動産アセットとデジタルテクノロジーの融合により新たな顧客体験を創出し、既存の不動産業にとらわれないビジネスモデル革新を推進しております。本事業では、エレベーター空間内でデジタルテクノロジーを活用することにより、不動産オーナー・テナント企業・エレベーター乗客に向けた新たなインターフェイスを提供します。オフラインの場である「不動産」とデジタルテクノロジーを結び付けることにより、世界的なトレンドである「オンラインとオフラインの融合(OMO=“Online Merges with Offline”)」を通じた BtoBtoC 領域へ進出していきます。

東京は、2017 年の創業以来 2 年半、エレベーターメディア事業に取り組んでいるテクノロジースタートアップです。これまで 400 台以上のディスプレイを導入し、エレベーターという電波が届きづらい特殊な空間でも安定的に通信を行うテクノロジーと、エレベーターメディアに関する企画・開発・運営ノウハウを培って参りました。不動産領域におけるデジタルトランスフォーメーションを牽引する三菱地所との提携により、事業フィールドの拡大はもちろん、次世代エレベーターメディアを人々の生活の接点としてより一層広げていくことを目指していきます。

※1(株)東京流通センター所有ビル ※2(株)博品館所有ビル



▲エレベーターかご内扉への投影イメージ



▲実際の投影映像（TRC センタービルにて撮影）

1.「spacemotion 株式会社」の概要

商号	spacemotion 株式会社
設立日	2019年11月5日
所在地	東京都千代田区大手町一丁目1番1号
株主構成	三菱地所 51%、東京 49%
代表者	代表取締役社長 石井 謙一郎 代表取締役副社長 羅 悠鴻
業務内容	エレベーターにおけるプロジェクターを活用したコンテンツ配信サービス「エレシネマ」を展開。
ホームページ	https://spacemotion.co.jp/



【社名の由来】

spacemotion という社名には、様々な「Space（スペース：空間）」を「Motion（モーション：動かす）」していきたいという思いを込めました。今後エレベーターのみならず、まだまだ可能性が秘められているオフラインの「Space」自体をデジタル化していきます。

【代表者コメント】

■ 代表取締役社長 石井 謙一郎（2008年、三菱地所入社）

日本で初めてエレベーターが誕生したのが明治 23 年。以来、エレベーターは建物内の「移動手段」として、私たちの日々の生活を支えてくれています。多くの場合、そこで何気なく過ごされている時間に着目し、エレベーターを「小さな劇場」のようなワクワクする空間に変えていきたいという思いから、「spacemotion」を立ち上げました。

人々が常にオンラインに接続された状況において、リアル場で求められる顧客体験価値の在り方が変わってきています。

エレベーターをタッチポイントとして、街・建物に訪れる皆さまと向き合い、新たな「おもてなし」を提供して参ります。



■ 代表取締役副社長 羅 悠鴻（2017年、東京大学在学中に株式会社東京を創業）

従来見逃されていたエレベーターの中の可能性に着目し、2017年2月に株式会社東京を創業以来、エレベーターメディアに特化したテクノロジーの研究開発を推進して参りました。

この度、不動産領域におけるデジタルトランスフォーメーションを積極的に推進する三菱地所とタッグを組み、日本でまだ誰も実現していない領域にチャレンジすべく、合併会社「spacemotion」を設立する運びとなりました。

令和元年、エレベーター革命が始まります。エレベーターの中での新たな顧客体験に、ご期待下さい！



2.エレベーターメディア事業について（事業名：エレシネマ）

【事業概要】

- ・ エレベーターのかご内にプロジェクターを設置し、前方の扉にニュースや天気、管理情報などの利用者に有用なコンテンツを投影
- ・ 扉の開閉を検知するセンサーによって、ドアの開閉に合わせて放映が開始・終了する、乗客に心地よい放映仕様
- ・ 弱電波環境にも耐える映像配信システムで、安定的なコンテンツの配信が実現
- ・ 一般的なディスプレイを使用したエレベーター内サイネージと比較し、小さな画面に納める必要がなく、コンテンツの魅力を活かした効果的な投影
- ・ プロジェクターは重量 1kg 未満、エレベーターという密室空間に合わせた排熱設計、揺れによる落下を防止する耐震設計を取っており、設備や安全性に影響を与えることなく設置が可能



▲エレベーターかご内での投影を横から見た様子

【コンテンツ内容の例】

投影コンテンツは、主に ①不動産オーナー・管理者からの配信情報 ②防災マップ ③提携先によるニュース・天気予報及び spacemotion 独自コンテンツ ④スポンサー広告で構成されています。

①不動産オーナー・管理者からの配信情報

従前は貼り紙等で実施していた不動産オーナーからの情報発信を、視認性・反復性の高い本媒体にて告知することが可能です。利用料は無料(月々の電気代のみ不動産オーナーにて負担)で、館内イベント情報・テナント企業情報等を放映することで、館内のコミュニケーション活性化の一助を担います。

②防災マップ

自治体または不動産オーナー指定の避難場所への経路マップを、物件ごとにカスタマイズして無料で製作します。近年、一層重要性が高まっている防災への取り組みの一環として、不動産オーナー・テナント企業に活用いただけます。

③提携先によるニュース・天気予報及び spacemotion 独自コンテンツ

天気・ニュース等の情報や「グルメ」「観光」「レシピ」「伝統工芸」等の短尺番組を放映(今後提携メディアは拡張予定)。エレベーター利用者に対し、エンターテインメントの時間をご提供します。

④スポンサー広告の配信

日中、さまざまな人が乗り降りするエレベーター空間をスポンサーの顧客コミュニケーション・プロモーションの場として活用いただくべく、広告媒体として販売します。

3.第一弾導入先物件の概要

■ (株)東京流通センター所有 TRC センタービル（オフィスビル）

所在地：東京都大田区平和島 6-1-1

【オフィスオーナー・(株)東京流通センターのコメント】

当社は東京都大田区平和島にて、大型物流施設をはじめオフィスビル・展示場の保有・運営管理を行っております。

エレベーターは日常的に利用される場所であり、“～ながら時間（通勤しながら、等）”に情報を知って頂ける点で、施設管理を行う上では非常に有効な媒体であると考え、オフィスビル内へ4台設置させて頂きました。

施設利用者様が求めるニーズが多様化する中、今後も、本件のような新しい取り組みも交えながら、“働きやすい”“使いやすい”施設づくりを心がけて参ります。



▲TRC センタービル

■ (株)博品館所有 伊藤ビル（オフィスビル）

所在地：東京都豊島区東池袋1丁目6-4

【オフィスオーナー・(株)博品館のコメント】

今回、第一号物件としてエレシネマを2台設置させて頂きました。日本では全く体験したことのないプロジェクションによるエレベーター内コンテンツ配信に、最初こそ心配はありました。しかし、設置後にエレベーターに乗ってみて感じた、これまでとは全く違った体験に感動しています。テナント様からも「面白い」との声を頂いており、こういった最先端の技術を取って来たことにとても満足しています。

(参考) 株式会社東京の概要

商号	株式会社東京
設立日	2017年2月10日
所在地	東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル 12階
資本金	1億4744万8895円(資本準備金を含む)
株主構成	小澤隆生氏(ヤフー(株)取締役専務執行役員)、伊藤将雄氏(株)ユーザーローカル 代表取締役社長)、 XTech Ventures(株) (担当: 手嶋浩己共同創業者)、出井伸之氏(クオンタムリーブ(株)代表取締役) 等
代表者	代表取締役社長 羅 悠鴻
業務内容	エレベーターにおけるディスプレイを活用したコンテンツ配信サービス「東京エレビ」「東京エレビ GO」を展開。
ホームページ	https://www.tokyo-inc.com/